

表彰伝達式



令和2年度 県新人ボート競技大会

ボート部

男子

舵手付きクォドルプル 3位
ダブルスカル 1位

女子

シングルスカル 1位 下菌 美友

全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選

ボート部

男子

ダブルスカル 2位 時吉 拳至郎
島中 秀伍
濱田 悠聖

第19回全日本モノクロ写真展

写真部

「フラれる5秒前」 佳作 大平 夏楓

地方創生政策アイデアコンテスト

九州経済産業省局長賞 小園 愛梨
前原 未侑 下夷 璃歩

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会

男子バレーボール部 準優勝

令和2年度秋季地区大会

男子バレーボール部 優勝

ハンドボール部 優勝

弓道部 男子団体優勝

剣道部 男子団体優勝

柔道部 60kg級 個人優勝 西 雄成

第22回南九州市かわなべ青の俳句大会

学校賞 川内商工高等学校
県知事賞 柿原 宏哉
南九州市長賞 柳田 美麗
特選 福永 綾音
木場 海渡

山内 凜 藤村 大輝
尾ノ上 力 楠元 天寿
安田 快斗 益崎 乃愛
田畑 成樹 上城 凜

第71回県高校美術展

秀作賞 若宮 叶波
児玉 明未花

第57回献血運動推進全国大会

最優秀賞 児玉 明未花
優秀賞 中山 琴音

第72回体育祭



9月5日(土)本校第2グラウンドにて、第72回体育祭が実施されました。昨年度、一昨年度と雨で半日の開催でしたが、本日は天候に恵まれ、全てのプログラムが実施されました。コロナの影響で無観客での実施でしたが、生徒は全力で楽しんでいました。結果は、競技・応援の部ともに優勝は青組でした。

商工祭



10月29日(木)30日(金)の二日間で商工祭が実施されました。今年度はコロナウイルス対策のため、平日に外部公開なしの開催となりました。様々な制約の中、素晴らしい商工祭を開催できたことが何よりも良いことでした。ステージ有志参加の優秀賞は吹奏楽部、展示部門は電気科1年B組、ステージクラス参加部門では商業科3年B組でした。

吹奏楽部第54回定期演奏会



11月23日(月)川内文化ホールで55回目となる吹奏楽部定期演奏会が行われました。今年度は新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限された中でしたが、無事開催することができました。ご協力ありがとうございました。

進路講演会



11月24日(火)本校体育館にて進路講演会が行われました。講師は一般財団法人 chests 連合代表理事の外山 雄大(とやま たけひろ)先生で「薩摩剣士隼人 夢を見るチカラ」という演題で講演されました。「小さい頃からスーパーヒーローが好き」という話から始まり、ご自身のやってきたことを聞くことができました。講演の最後に「どんな職業に就きたいかではなく、どんなことをしたいか」という言葉を投げかけられた。社会に出ると苦しいこともあるが、自分でしたいこともできるようになる。今までなかった仕事でお金を稼ぐことができる時代で、いろんなチャンスも出てきた。社会に出れば多くの可能性がある。「大人になるって楽しい」と締められました。

ロードレース大会



1 レース大会が行われました。ここ数年、雨天で完全実施ができずでしたが、本日は晴天の中、完全実施できました。気温が上がったため、走るには暑かったと思いますが、本日出走した生徒は全員完走しました。

防火防災避難訓練



12月4日(金)防火防災避難訓練を実施しました。今回は、地震発生後、川内原子力発電所の異常発生を想定した訓練が行われました。DVD視聴後、鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課の水島園光児(つるぞの こうじ)様の講話があり、原子力災害が起きたときの緊急事態区分や一時移転、避難方法や避難先など、災害時における行動について知ることができ、防災意識を高める機会となりました。

芸術鑑賞会



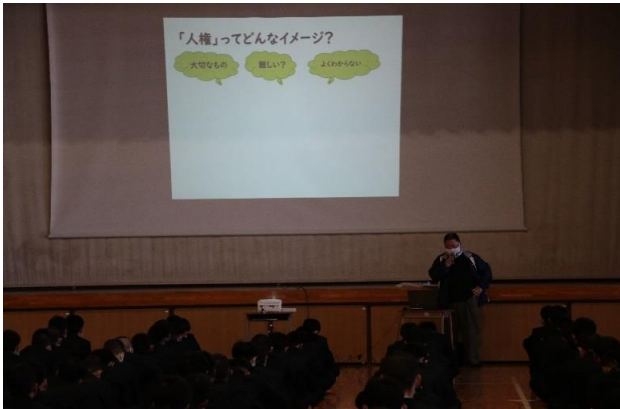
12月17日(木)本校体育館にて芸術鑑賞会が行われました。密を避けるため午前と午後の2回講演となりました。今年度は古典芸能で東西の落語や曲芸、漫才等がありました。寒い中の観覧でしたが、歓声と笑いの絶えない2時間でした。

クラスマッチ



1 た。今回はバスケットボール、ドッチボール、バドミントン、サッカーの種目で行われました。3年生にとっては高校生活最後のクラスマッチでしたが、みんなとても楽しんだ様子でした。

みんなが笑顔になるために



国連で、1948年「世界人権宣言」が採択され、1950年12月10日が「人権デー」と定められました。同宣言が採択されたことを記念し、わが国では1949年より12月4日から10日までを「人権週間」と定め、各関係機関及び団体の協力のもとに各マスメディアを利用した啓発活動がおこなわれています。

本校でも、12月7日(月)に合同LHR(1・2学年:体育館)、統一LHR(3学年:教室)「人権ってなんだ」というテーマのもと、身近な人権やそれらの人権課題について学習しました。

今年度の人権週間ポスターから感じる思いや「子ども」「女性」「高齢者」など様々な人権について学び、特に「障がい者」の人権について学びました。バリアフリーやユニバーサルデザインの発想の違いや「人はいずれ何かしらの障がいをもつ」可能性があること、何気ない言動で相手を傷つけてしまう場合がある」問題(マイクロアグレッション)などを学習しました。

さいごに、「人権ってなに?」って小さい子どもに聞かれたら何と答えますかと発問しました。答えは生徒たちの感想の中にあります。ご覧ください。

各学年、生徒は真剣に話を聞いているようでした。様々な形で存在する人権問題に生徒一人ひとりが関心を持ち、人権への正しい理解や人権感覚を身につけてほしいと思いました。

<生徒感想より>

・私は人権についての話が大好きです。今日改めて人権について知れてよかった。

・自分が自覚していなくても相手を傷つけているのかも知れないし、これからも発言や行動にも気をつけていきたいと思いました。

・今、世界中でいろいろな差別がされています。そして、差別をする人をたくさん人もいます。私はそういうものも全部なくなればいいのになあと思います。みんな違ってあたりまえ。そういう世界になればいいと思いました。

・身近に障がいを持った人がいるので、障がい者の人権についてのこと、ユニバーサルデザインなどが心に残りました。「お前、障がい!」のように、ふざけて言ったりする人がいると聞いてとても悲しく嫌な気持ちになります。そういうことをなくしていきたい。

・私はいじめや差別をされたことがあります。だけどそれ以上にたくさんいい人がいて周りの優しい人たちに恵まれているおかげで、私は強くなれました。

・最後に問われた「人権とは何でしょう。」という質問に、「人権」とはみんなが笑顔になるためのものという言葉、自分自身とても良い言葉だと感じる事ができました。